

	本人出席	代理出席	合計
上町内会	22	4	26
上第二町内会	35	7	42
中町内会	35	3	38
西町内会	13	13	26
長和久町内会	7	2	9
中通り自治会	24	5	29
合 計	136	34	170

沢山の方にご来場いただき感謝しております。
御出演いただいた団体の方々には、ご尽力を賜り厚くお礼を申し上げます。

令和七年度第四十五回原南学区敬老会

原南学区社会福祉協議会



社 協

原南学区

発 行
原南学区社会福祉協議会
編 集
広 報 委 員 会

敬老会に参加して



演芸出場グループ

- ・原南小学校4年生児童
- ・祇園東中学校吹奏楽部
- ・原南女性会
- ・原南福寿会女性部

今年も猛暑続きで昨年より一ヶ月後の10月30日(月)の敬老会へ参加の運びとなりました。会場に着くと中学生のボランティアの方に親切に案内して頂き、とてもうれしかったです。

学区内には、今年80歳以上の方が588名で参加者も多く、地域にたくさんの高齢者がおられることに驚きました。

出し物は小学4年生の歌と演奏、女性会と福寿会の各演技、祇園東中学校吹奏楽部の演奏と、すべて力強くすばらしく、魅力が伝わり元気を頂きました。誠に有難うございました。

元気なお年寄り

健康への心掛け



中通り自治会
村田 和之
(八十五歳)

「お前は、まだ生きておったか」、と久しぶりに出会った恩師、元市の教育委員長の言葉通り、小学三年の時、原爆の後遺症かどうか分からないけれど三年間の闘病生活、以後五、六回死線をさまいながらクリアしてきた自分には健康等と縁のない者にとっては、くすぐったいけれど「この世で必要な人間だから活かされてる」との思いで不満も言わず「行」を修行し奉仕して参りました。

病院長曰く、薬の量も少なくなりましたが、ままならずお医者泣かせ、八十五歳となつて病人らしく、おとなしくしてほしい由。薬は規則正しく二十錠飲んで、くよくよせずに前向きに、毎日パトロール運転、「ぴんぴんころり」を心掛けております。

二 今までで一番の思い出

全国の神社会などの会長を十三年間勤めてきたので、国内の県は全て巡回しています。伊勢の五十鈴川で五千人の生徒を視指導し、幹部候補の中には公家さんも数人おられたのが思い出。

三 生き甲斐は何ですか

検察庁や市立小学校の校長先生を集めて講演をさせて頂いた時や、居合道で真剣の模範演武した後すつきりと満足し生き甲斐を感じた。

四 人生の先輩として一言

座右の銘は「本ものの神主」。坂本龍馬の姉にあてた手紙に「日本を洗濯いたし申し候」。吉田松陰先生の「至誠」の言葉を好み、人生の先輩として心掛けています。

私達は間違いなく祖先と繋がっており、自然の恵みの上に生かされている。古代人が大切にしてきた歌を忘れたカナリヤになるな！

支え合いの地域をめざして！

原南学区社会福祉協議会では、地域の住民が自由に出入りでき、ちょっとした困りごとの相談を受けるなど日常の様々な情報が集まる場として、集会所内に「生活相談窓口」を設けております。

どこに相談していいのかわからない時など先ずは「生活相談窓口」に相談してください。常駐スタッフが皆様のお越しをお待ちしております。

ボランティアバンク「はらみなみ」の生活支援

「地域でお困りの方を、地域で支える」活動をしています。今年度は、植木の剪定、草取り、ハチの巣の撤去、犬の散歩、ゴミ出し、大掃除などの依頼があり実施しました。

【対象者】

原南学区内にお住いの高齢者のみの世帯などで、次に当てはまる方です。

- ・今まではご自身でできていたことが難しくなりお困りの方
- ・頼れる身内や親戚が近くにいない方

【利用料（令和7年12月1日から施行）】

- ・原則として、ボランティア1人あたり、60分につき500円
(例：3人で2時間活動したら・・・3人×500円×2時間＝3,000円)
- ・ゴミ出し(玄関先から市のごみ収集場所まで)は、ひと月あたり500円

【今年度の事例紹介】

- 通学路沿いのヒイラギの垣根にスズメバチの巣が発見され、撤去依頼が2件あり除去しました。
- ・生徒の見守り協力員から、通学路に面した家の垣根に大きなハチの巣があり、ハチが飛んでいて危険であるとの連絡がありました。その家屋は老夫婦が所有し住んでおり、本人からハチの巣の撤去依頼をされました。ハチの飛来拡散を防ぐため、巣のあるヒイラギを覆う大きな農業用虫よけネットを購入し加工しました。虫取り網、スプレー、頭から被る防虫網、雨がっぱ等を装備し3人がかりで、ハチの巣を引き落とし、無事退治し撤去しました。利用者からは、どうしようか困っているところを早く処理できて大変感謝されました。
 - ・その他、原南小学校教頭から、通学路に面した家屋のヒイラギにハチの巣がありハチが飛んでおり、撤去依頼がありましたので直ちに撤去処理しました。

赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございました。

赤い羽根共同募金は、原南学区のいきいきサロンや敬老会などの福祉のまちづくり事業や災害時の支援活動に活かされています。

【令和7年度共同募金】

令和7年10月1日、フレスタ祇園店で街頭募金活動を実施しました。街頭募金額は、51,967円でした。

また、街頭募金のほか町内会・自治会での戸別募金や学区内有志の募金が大きな割合を占めており、関係者のご協力に深く感謝致します。

今年度の原南学区共同募金実績額（12月末現在）は、右の表のとおりです。

年度別の相談件数

年 度	相談件数	内、ちょっとした困りごと	生活支援訪問サービス件数
R 6	1 4 7	6 3	3 9
R 7	1 5 5	6 4	3 8

(R7は12月末現在)



令和7年度原南学区募金実績額

街 頭 募 金	
中 町 内 会	51,967
中 通 り 自 治 会	144,000
西 町 内 会	58,750
上 町 内 会	40,000
上 第 二 町 内 会	50,400
長 和 久 町 内 会	35,000
学 区 内 有 志 募 金	32,000
合 計	150,000
	562,117

(令和7年12月31日現在：単位円)

いきいきサロン

西地区



8月のいきいきサロンでは、子ども会の皆さんと焼きそばをしました。9月には、村勉様のハーモニカ演奏で懐かしい歌をみんなで歌いました。10月はグラウンドゴルフで身体を動かして、11月、12月は子ども会と一緒に千支作りをしました。いつも和気あいあいとした雰囲気です。毎月の予定は町内会の回覧板や掲示板でお知らせしています。興味のある行事の参加を歓迎します。みなさんの参加をお待ちしています。

上地区



九月、音楽療法士の久保敬子先生の演奏で、昔懐かしい歌を歌いました。「里の秋」を歌った際に、未だお骨が戻っていない、戦争で亡くなった父を偲び人知れず涙しました。と参加された方から後日聞き取りました。

十月のグラウンドゴルフ、見学者合わせて27名の参加、天候にも恵まれ盛況でした。十一月は、東原・祇園東包括支援センターの方々に「老後を考える」と題して勉強会を開いていただきました。十二月、恒例のクリスマス会。ゲームなど盛り上がりしました。今後皆さんの参加をお待ちしています。

下地区



厳しい残暑が続く中9月のサロンは東原・祇園東地域包括支援センターの出前講座に介護保険のしくみ及び必要介護認定申請からサービス利用までの流れ他について学習しました。皆さん日頃の疑問が解消した様子でした。

中地区



今年後半の九月のサロンは、まだまだ根強い「消費者トラブル」について、包括支援センターの講師の方を招いて行いました。警察官を模した巧妙な電話の詐欺事件、そして相続、刑事犯罪の様々な事例を挙げて紹介していただき、身の危険を感じた学習でした。

十月のサロンは、秋の兆しをまちのぞみながらみんな元気を付けて、中井民生委員の指導で「折り紙」を開催。いやや「折り紙」は簡単と思いきや、鶴を折るのに大苦戦。折り紙の奥の深さをしみじみ感じて、持ち帰った折り紙に夢中になるほど貴重なサロンでした。

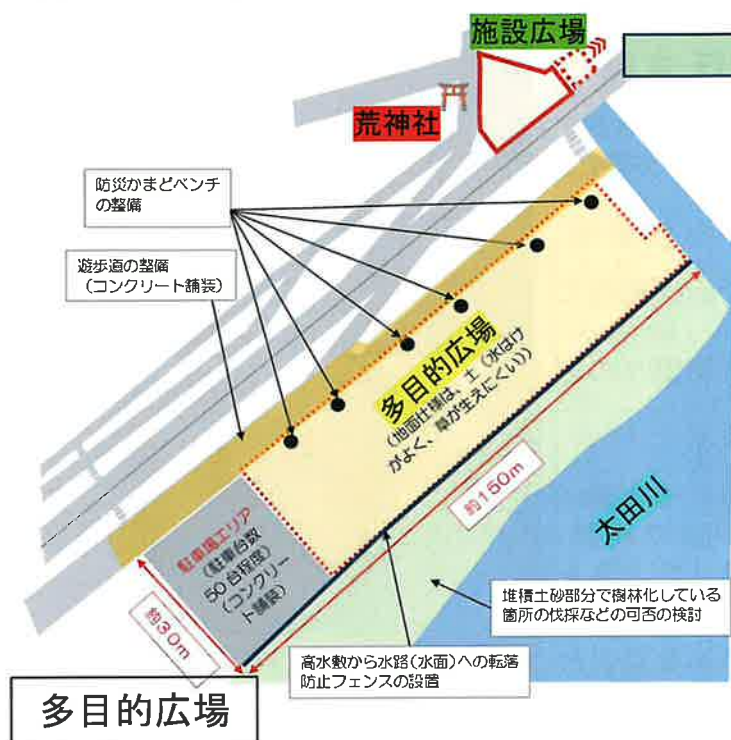
十二月のサロンは、あの八月、九月の猛暑の皆さんに、慰労を兼ねて、「可部」の満天の湯で、風呂浴びの会を開催。皆さんの食事を、皆で楽しんだ一日でした。

「原南の原っぱ」づくり整備計画案を合意

原南学区まちづくりワークショップ委員会主催のワークショップが今年度3回開催され、各団体代表者だけでなく広く45名の方が参加しました。「小さな気づき・アイデア」を出し合って計画案をまとめました。詳細設計や関係機関協議により、施設の配置や構造等に変更が

生じることがありますが、行政関係者の前で地域の様々な思いを出せたことは有意義でありました。

また、行政との役割分担として、まちづくりワークショップ委員会において、地域としてできることを検討することも合意しました。



原南児童館（仮称）の整備方針決定

原南小学校の通用門近く給食調理室の横（現在は駐車場）に児童館の計画が進められ、下図のように設計図も出来てきました。令和8年度から建設工事に入り、令和9年の夏ごろ開館の予定です。

児童館職員2名と放課後児童クラブ指導員2名を中心にスタッフも配置されます。工事中はご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

